

里山倶楽部自然農場日記6月号 NO77

今回は最近の出来事を箇条書きしました。

今年の夏野菜の播種…ピーマン、トマト、ナス、スイカは発芽しにくく、また発芽してからの成長も遅い性質があります。4月下旬から5月上旬に定植しようとするには2月から3月に播種しなければなりません。その頃はまだ気温が低く普通の播種法では芽が出ません。一般的なやり方はハウスの中で電気を通した温床マットを引き、そこでポット育苗をします。当農場はハウスも電気もないため毎年上記の野菜は苗を購入してきました。今年は一念発起、自前苗に挑戦しようと温床マットなしの簡易ミニハウスを作りました。結果は土の温度が上がらず失敗の巻きでした。まずまずだったのはナスくらいでピーマンはほとんど発芽せず、トマト、スイカは三分の一くらい。夏野菜の苗作りの難しさを痛感させられました。

トマト…毎年トマトの苗はただです。というのは河南町の有機農家青空農場さんからトマトの脇芽をもらいそれを根出しして定植します。青空農場さんは立派なハウスとももちろん電気もあります。自然農場は毎年トマト200本、ミニトマト200本作付けします。苗を買っていたら大変なコストがかかります。青空さんには感謝、感謝です。

空豆…今冬のヒット作は空豆でした。なるはなるは、今まで経験したことがない大豊作。EM自然農法の提唱者、比嘉照夫の言葉を借りると、まさに「限界突破」という言葉がピッタリです。時々とんでもないことが起きるのが世の常。いいことばかりとは限りませんけどね。

エンドウ…空豆とは逆にエンドウ、スナックエンドウ、絹サヤの三種は散々でした。原因はにつくきヒヨドリのせいです。3月頃、エンドウ類が冬の眠りからさめ（冬の間寝ているわけではない。じーっと根をはっている）新芽が出てきたところをその新芽がヒヨドリに食害されたのです。何せ敵は大群で押し寄せてきます（50～100羽）。一日であつという間に丸坊主にされてしまいました。あわててネットを張っても時すでに遅し……。でもエンドウさんたちはけなげにもまた新しい芽を出しました。何とか収穫はできましたが、収量は大幅ダウンでした。

同窓会…先日高校の同窓会が20年振りにあり、参加してきました。私の出身校は愛知県の渥美半島の先端にある「愛知県立福江高等学校」。名もなき小さな田舎の高校です。（渥美半島、伊良湖岬ってご存知ですか？）戦後のベビーブームの競争が厳しい中でなかなか優秀な仲間が多かったんですよ。青春の入り口の多感な時代を共に過ごした仲間たちとの交流は、酒の勢いも手伝って深夜まで続きました。こんな設定で飲む酒は何にも代えられませんね。但し残念な事がありました。あいつもこいつもと・・一人や二人でなく何人もの仲間が癌で

亡くなっていたのです。食べ物のせいなのか？それとも福島のせいなのか？それとも両方？

お客様の声

今年初たけのこ！箱をあけてすぐにヌカの袋が見えたので「わーい」と声をあげてしまいました。ゆでている間どうやって食べようかワクワク考えています。ありがとうございます。

(Fさま)

いつもありがとうございます。セリご飯作りました。さわやかな色と香り、春を楽しめました。タケノコもヌカ付きなので助かっています。ダンナにも大好評でした！

(Eさま)

たまちゃんのつぶやき

先週、早々と台風がやってきました。大阪は雨や風が強かった程度ですみ、農場の野菜も無事でした。急に暑くなったり、台風がきたり…今年の夏の天候がちょっと心配です。やはり異常気候になりつつあるのでしょうか？無事に田植えが出来、野菜が実る夏であることをいのるばかりです。暮らしをシンプルにして、少しでも地球にインパクトの少ない暮らしをしたいと願いつつ、なかなかできていませんが…日々勉強です。(5月18日)